

2 事前調査の方法

2-2 既存建築物の診断方法

8. シーリングは剥離していないか

目 的：雨漏りによる下地木材(土台・柱など)の腐朽の確認。

調査法：目視。

対 策：付近の胴縁材保持力チェック試験を実施してください。
十分な強度が確認できれば、シーリングの打ち直しを行ってください。

9. 苔などにより汚れていないか

目 的：下地木材の腐朽・蟻害・雨漏りの確認。

調査法：目視。

対 策：付近の胴縁材保持力チェック試験を実施してください。
十分な強度が確認できれば、洗浄・湿気対策を実施してください。

■その他の部位

10. 建物全体に、倒れ・傾きはないか

目 的：地盤沈下・躯体の耐震性能の確認。

調査法：目視。

対 策：耐震精密診断・地盤調査が必要です。

11. 雨樋は機能しているか

目 的：雨漏り・下地木材の腐朽の確認。

調査法：目視。

対 策：雨樋の清掃、または交換が必要です。

12. 軒天は汚れていないか

目 的：雨漏り・下地木材の腐朽の確認。

調査法：目視。

対 策：雨漏りの補修、軒天の塗装・交換が必要です。

13. 破風板・鼻隠しは健全な状態か

目 的：雨漏り・下地木材の腐朽の確認。

調査法：目視。

対 策：交換が必要です。

14. 羽蟻が発生したことはないか

目 的：蟻害による、土台・柱の腐朽の確認。

調査法：聴き取り。

対 策：専門家による害虫の駆除や木材(土台・柱)の根継ぎ交換が必要です。

15. 高基礎(浴室部など)の有無

目 的：雨漏り・下地木材の腐食の確認。

調査法：目視・設計図書。

対 策：新規胴縁の、留付下地の把握。

